

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	近藤 靖浩		
事業コード	4 -	事業名	簡易水道事業特別会計		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
		(細事業名)					
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然で豊かで快適に暮らせるまち					
	章	2. 安心して暮らせる生活基盤					
	節	3. 水道・下水道の整備					
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし ・上下水道事業の推進と経営の効率化 新宅地分譲地における上下水道工事の実施及び適正な維持管理に努めます。 また、水道事業では将来の施設更新に備えて経営の効率化を進め、計画的な料金改定を行います。					
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活安全、安心づくりを進めます			
		細項目	③	ヴィレッジときわ野第4次分譲地の整備			
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値
③ 事業の概要	・水道水を安全・安定的に供給するため適正な管理運営を行っている。						
④ 事業の内容			H26実績	H27実績	H28実績		
	新宅地分譲地水道工事(ときわ野第3,4分譲地)		10,184千円	千円	10,606千円		
	道道清水大樹線40号ストレーナー取替工事		3,510千円	千円			
	中札内地区 量水器取替工事		千円	7,776千円			
	中島地区 量水器取替他工事		千円	8,262千円			
	鉄道記念公園通り水道新設工事(プール方面)		千円	千円	1,404千円		
	中札内村 水道荒濾過施設 清掃委託業務		千円	千円	886千円		
	この事業の決算額等	決算額	127,933千円	125,183千円	136,709千円		
		うち一般財源等	127,273千円	101,985千円	129,509千円		
		国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )				
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	・H22～24年度に機器更新計画に基づき、すべての機器更新を完了した。 ・H25年度は新宅地分譲地箇所水道新設(ノースヴィレッジ興農)を行った。 ・H26年度はときわ野第3次分譲地の水道工事を行った。 ・H27年度はときわ野第4次分譲地の水道工事の実施設計、幹線の水道に設置している流量計の更新工事を行った。 ・H28年度はときわ野第4次分譲地と水道工事、中札内村民プールの水道接続工事を実施。 ・営農用水道事業と共同部分は一般会計の営農用水道事業より負担金を充て実施している。						
⑥ 事業の評価	コスト	効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性	
	10 低い	10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	5 全くない	○ 10 高い	
	○ 7 やや低い	○ 7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	3 少ない	7 やや高い	
	4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	○ 1 多い	4 やや低い	
	1 高い	1 低い	1 低い	1 低い		1 低い	
					合計	45	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由	特別会計で行政が実施しているが、一部、水道検針と夜間警備を委託している。			

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の異常気象により、落雷による緊急出動の増加しているため人員不足が予想される。</li> <li>・更別村との共同施設である浄水場、導水管等の老朽化が進んでいる。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場対応力向上のため施設グループ全体での異常時即応体制を強化する。</li> <li>・浄水場運営などの対策は、更別村と協議する。</li> </ul> <p>・平成29年度4月料金改定に向け、小口使用者への配慮や消費税の転嫁、管内状況を調査及び将来の収支計画を樹て改定額について検討する。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道埋設図を誰でも扱えるよう整理・電子化し、工事埋設確認等の窓口業務、漏水時の即時対応を可能にした。また、局地的豪雨、台風が増加傾向にあり原水高濁度・人員不足の対応として南札内浄水場濾過地清掃を軽減するための濾過マットを予算化した。</li> <li>・浄水場運営などの方向性を検討するため更別村と協議を進めた。</li> <li>・平成29年4月改定に向け、管内状況を調査、将来収支計画等を算定する中で、少量使用者が割高であることから基本料区分を細分化し値下げ、10m3以上の使用者には変更しない等の条例の改正を行った。</li> </ul>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道施設資料の整理・電子化については人員不足解消に向けて今後も続く。</li> <li>・浄水場運営の今後において企業団による水道施設の一本化、または一本化しない場合に原水高濁度対応のための原水前処理施設、その他濾過方法の変更など、経済比較を含めたより細部を検討する必要がある。</li> </ul>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋設図だけではなく引き込み等の細部資料も電子化することにより人員不足を補う必要があるため準備を進める。</li> <li>・浄水場、水道管の今後の方向性について、より細部を検討するための検討を進める。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・関連機関の今後の方向性を見極めながら対応すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

事業コード		5 -		事業名	公共下水道事業特別会計			作成者	里見 晶			
		(細事業名)					<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然で豊かで快適に暮らせるまち										
	章	2. 安心して暮らせる生活基盤										
	節	3. 水道・下水道の整備										
		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし		・上下水道事業の推進と経営の効率化 新宅地分譲地における上下水道工事の実施及び適正な維持管理に努めます。 ・計画的な下水道施設の更新 下水道機器の更新には多額な費用が必要なことからコスト削減のための長寿命化計画を策定し、効率的な危機更新を行います。また、更新事業に伴う将来の収支計画を策定し、計画的な料金改定を実施します。								
参考	村長公約での位置付け		番号	5 生活安全、安心づくりを進めます								
			細項目	③ ヴィレッジときわ野第4次分譲地の整備								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目			現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値			
	水洗化率			95.1%	96.4%	96.0%	97.1%		97.0%			
③ 事業の概要		・安定的な下水道処理の維持、長寿命化計画に基づく施設改修・修繕、機器更新等の実施を行っている。										
④ 事業の内容						H26実績	H27実績	H28実績				
	新宅地分譲地下水道工事(ときわ野第3,4分譲地)					15,552千円		13,716千円				
	下水道施設長寿命化計画策定委託					6,318千円						
	中札内東5条下水道新設工事							3,024千円				
	下水道認可変更・上下水道実施設計委託							5,400千円				
	下水道施設中央監視装置外実施設計委託							4,228千円				
	中札内浄化センター電気設備更新工事							5,076千円				
	鉄道記念公園通下水道新設工事(プール方面)							1,523千円				
	その他下水道工事							1,242千円				
	長寿命化に伴う機器更新実施設計委託							1,998千円				
下水道BCP作成に関する共同研究							961千円					
この事業の決算額等					決算額		161,596千円	154,360千円	249,058千円			
					うち一般財源等		143,299千円	149,946千円	229,606千円			
					国・道補助		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 1/2、道 / )					
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果		・H25年度 新宅地分譲地箇所下水道新設(ノースヴィレッジ興農)を行った。また、ときわ野第3分譲地の下水道認可拡大委託及び実施設計委託を行った。 ・H26年度 ときわ野第3分譲地の下水道管工事を行った。 ・H27年度 ときわ野第4分譲地の認可拡大及び下水道の実施設計を実施。 ・H28年度 ときわ野第4分譲地下水道新設工事、東5条下水道新設工事、処理場電気設備更新工事、長寿命化に伴う実施設計委託を実施										
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い		5 全くない	○ 10 高い			
		7 やや低い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	○ 3 少ない	7 やや高い				
	○	4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	1 多い	4 やや低い				
		1 高い	1 低い	1 低い	1 低い	1 低い		1 低い				
<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない										合計	47	
⑦ 住民や民間との役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		特別会計で行政が実施しているが、浄化センターの管理は指定管理者制度を導入している。					

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の工事費の起債償還が1億円弱あり、使用料収入・基準内繰入金では足りず、基準外繰入金で賅っている状況にある。</li> <li>・下水道施設長寿命化計画に基づき実施中だが、交付金要望額に対し、交付金がカットされ満度に交付されなく計画通りに進捗していない状況にある。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度4月使用料金改定に向け、小口使用者への配慮や消費税の転嫁、管内状況を調査及び将来の収支計画立て、改定方針をまとめる。</li> <li>・下水道施設長寿命化計画実施に向け、道への予算要望ヒアリング時、必要性や老朽化具合を説明し、交付金確保に尽くす。</li> </ul>
--------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度 of 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月改定に向け料金改定の実施 少量使用者が割高なため基本料区分を細分化し値下げを実施、また、10m<sup>3</sup>以上の使用量は下水道会計の長期的財務の健全化のため基本料金と従量料金の値上げを実施。</li> <li>・下水道長寿命化計画に基づき老朽化した電気設備の更新工事、及び新宅地、プールへの下水道管新設工事を実施。</li> </ul>
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道長寿命化計画に基づき老朽化した施設を更新工事を実施中だが、交付金カットにより単独費増加や計画に遅れが生じてきている。</li> <li>・下水道長寿命化の工事は交付金、起債借入れで賅い、一般財源は少ないが、起債の借入れを行うので、将来償還費が増え会計を圧迫する恐れがある。</li> </ul>
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設長寿命化計画に向け、道への予算要望ヒアリング時、必要性や老朽化具合を説明し、交付金確保に努める。</li> </ul> <p>下水道長寿命化計画に基づき老朽化した施設を更新工事を実施するにあたり、高効率で省エネの機器及びダウンサイジング等を考慮し、コスト縮減に努める。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の際の対応について研究すること。</li> </ul>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	小関梨菜							
事業コード	40116 -	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	5.自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	2.安心して暮らせる生活基盤										
	節	3.水道・下水道の整備										
主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 3. 合併処理浄化槽事業の推進 (1) 定住促進及び快適な住環境向上のため、合併処理浄化槽の設置を支援します										
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます								
		細項目	②	定住促進奨励、民間賃貸住宅家賃助成等に移住・定住対策の継続								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	水洗化率		95.10%	96.40%	96.00%	97.10%		97%				
	合併浄化槽設置率		72.40%	78.80%	77.80%	78.60%		77%				
③ 事業の概要		・新築住宅の合併処理浄化槽設置に掛かる費用の一部を補助している。 ・設置者で構成されている「浄化槽維持管理協議会」の事務局を担い、適正な維持管理の推進と啓発に努めている。										
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	合併処理浄化槽設置補助金			1,890千円	2,030千円	1,680千円						
	合併処理浄化槽普及促進協議会負担金			13千円	13千円	13千円						
	事務取扱手数料			0千円								
				千円								
				千円								
この事業の決算額等			決算額	1,903千円	2,043千円	1,693千円						
			うち一般財源等	1,903千円	1,711千円	988千円						
			国・道補助	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 1/2、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い	○	10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
		7 やや低い	○	7 やや高い		7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
	○	1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
合計												41
⑦ 住民や民間との役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		・住宅への浄化槽設置は個人が行うものだが、村内の上下水道整備区域とそれ以外との公平性の確保や定住促進の観点から行政が補助を行っている。 ・維持管理については民間業者へ委託済み					

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 適正な維持管理ができており、大きな課題はない。</p> <p>《改善の方向》 継続して「浄化槽維持管理協議会」の事務局を施設グループが行い、適正な維持管理と啓発を行っていく。 定住促進のために現行制度通り補助事業を実施していく。</p>
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>平成28年度は2件の補助を行った。 「浄化槽維持管理協議会」で一括して維持管理費の徴収・支払いを行い、適正な維持管理推進と啓発を行った。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>適正な維持管理ができており、大きな課題はない。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>・継続して「浄化槽維持管理協議会」の事務局を施設グループが行い、適正な維持管理と啓発を行っていく。 ・定住促進のために現行制度通り補助事業を実施していく。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	江淵周平					
事業コード	60212 -	事業名		土地改良事業費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続			
		(細事業名)								
① まちづくり計画での位置付け	編	4. 活力あふれる産業の育むまち								
	章	1. 農業の振興								
	節	1. 農業基盤整備と経営支援								
① まちづくり計画での位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 生産基盤の整備 (1) 国営、道営土地改良事業や単独の小規模土地改良事業を推進するとともに、受益者負担の軽減を図ります。								
参考	村長公約での位置付け	番号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます						
		細項目	②	農業基盤の整備						
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値		
③ 事業の概要	事業名：道営農地整備事業(畑地帯担い手育成型) 調査計画業務(平成31年度新規採択) 地区名：札内川右岸北部 業務工期：平成28年度～29年度(2カ年) 総事業費：1,791百万円 事業量：区画整理396.4ha(整地25.3ha、暗きょ31.9ha、客土238.5ha、除れき26.3ha)、畑かん施設(リールマシン6基、多目給水栓2基)、農道工3条L=4772m									
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績				
	土地連派遣職員負担金			1,318千円	—	—				
	札内川左岸地区負担金			32,821千円	37,610千円	—				
	道営農道特別対策事業負担金			—	—	—				
	札内川右岸北部地区負担金			—	—	—				
	土地改良(圃場生産基盤向上対策)事業補助金			—	—	300千円				
			千円	千円	千円					
			千円	千円	千円					
この事業の決算額等			決算額	34,141千円	181,914千円	12,850千円				
			うち一般財源等	14,452千円	61,904千円	12,633千円				
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )						
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	土地改良(圃場生産基盤向上対策)事業補助金 台風等の影響により圃場内が雨水によって滞水し、畑作物等に大規模な被害をもたらしたことから、圃場の生産基盤向上対策として当該補助金交付要領の要件を満たす「浸透層」を設置する経営体に対して、特例事業として補助金を交付し農業の生産性向上に寄与することを目的とする。 H28年度実施 2基									
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性			
	10	低い	○ 10	高い	○ 10	高い	○ 10	高い		
	7	やや低い	7	やや高い	7	やや高い	○ 3	少ない	7	やや高い
	○ 4	やや高い	4	やや低い	4	やや低い	1	多い	4	やや低い
	1	高い	1	低い	1	低い			1	低い
							合計	47		
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		生産基盤整備は農業経営に大きく寄与されることから、施策として行政が事業実施を行う。				

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》  <b>【新規土地改良事業】</b>                  各戸の要望量を圃場毎、工種毎に整理し、費用対効果算出基礎として、より精度を高める必要がある。</p> <p>《改善の方向》                  ・十勝総合振興局調整課並びに南部耕地出張所と連携し、各戸の詳細聴き取り調査を行うとともに、事業実施に向けた工程管理を厳密に取り進める。                  ・地域からの要望が多い、雨水処理対策や道路改良について一定の方向性をまとめる。</p>
---------------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p><b>【新規土地改良事業の取組み】</b>                  ・道営農地整備事業(畑地帯担い手育成型) 札内川右岸北部地区                  2ヵ年調査計画の1年。事業内容については主に面工事の地元聞き取りを行い、事業量等の精査を実施。</p> <p>・土地改良(圃場生産基盤向上対策)事業補助金                  雨水滞水対策として、交付要綱を満たす農用地に「浸透層」を設置する経営体に対して、補助金を交付し、農業の生産性向上に寄与することを目的とする。(本年度の設置実績は2箇所)</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>・道営農地整備事業の客土工事に必要な土の確保が課題であり、村の土取場選定が必要である。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>・土取場の確保に向けて選定作業を行う。また、札内川右岸南部の地元聞き取りを実施し、事業量の精査に努める。</p> <p>・土地改良(圃場生産基盤向上対策)事業補助金に係る追加要望の聞き取りを各経営者へ実施する。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	藤井克典			
事業コード	80104 -	事業名	公園管理費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
		(細事業名)						
① まちづくり計画での位置付け	編	5 自然豊かで快適に暮らせるまち						
	章	2 安心して暮らせる生活基盤						
	節	4 公園・緑地等の整備						
① まちづくり計画での位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし						
主要な施策・事業に記載の目的		1 公園・緑地などの保全と利活用 (1) 自然や緑を十分に生かし、親しみやすい憩いの場としての公園づくりを進めます。 (2) 公園・緑地の保全を図り、景観に配慮した樹木の適正な管理に努めます。 2 管理体制の確立 (1) 施設の安全対策のため定期的に巡視を行い安全を確保するとともに、利用者のマナー意識の向上に努めます。 3 自然環境の維持保全 (1) 美しい景観づくりのため、自然(緑地、樹木)の保護・保全に努めます。						
参考	村長公約での位置付け	番 号						
		細項目						
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値
	公園施設整備		—	—	1カ所	1カ所		1カ所
	公園や緑地の整備状況満足度		75%					80%
③ 事業の概要		公園や緑地は、地域コミュニティやスポーツ・レクリエーションの場として、また、二酸化炭素の吸収による温暖化防止、更には、防災対策上の避難場所としても重要な役割を果たしていることから、緑地環境の保全や附帯施設の適正管理を行っている。						
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績		
	公園管理委託			10,387千円	10,588千円	11,755千円		
	公園施設修繕			1,415千円	1,027千円	150千円		
	工事請負(遊具移設)			1,280千円	14,364千円	2,142千円		
	備品購入費(根切機)			373千円	1,232千円	402千円		
				千円	千円			
この事業の決算額等			決算額	17,759千円	32,416千円	18,452千円		
			うち一般財源等	17,759千円	32,416千円	18,452千円		
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(国 / 、道 / )			
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果								
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点		先見性・将来性
		10 低い	10 高い	10 高い	10 高い	5 全くない	10 高い	
	○	7 やや低い	○ 7 やや高い	○ 7 やや高い	○ 7 やや高い	○ 3 少ない	○ 7 やや高い	
		4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	1 多い	4 やや低い	
		1 高い	1 低い	1 低い	1 低い		1 低い	
								合計
⑦ 住民や民間との役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由		緑地や施設の日常管理を社会福祉協議会、ポロシリ福祉会に委託している。		

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜六花公園は過去6年において剪定及び防除防疫作業を実施してきたが、今後も引き続き実施する必要がある。また、病気等はある程度抑制されてきていることから、育樹管理に力点を置く。</li> <li>・委託先の担い手不足の解消。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜六花公園の防除防疫作業を継続して行うとともに、育樹管理を適正に行う。</li> <li>・公園管理の担い手の確保対策を検討する。</li> </ul>
--------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に引き続き桜六花公園の防除防疫作業を実施した。</li> <li>・桜六花公園の育樹に向けた取組みとして、エゾヤマザクラを10本植樹した。</li> <li>・桜六花公園のPRとして観光協会との連携により桜の開花情報などホームページへの掲載を実施した。</li> <li>・公園管理の担い手の確保対策については、作業人員が不足していることから管理方法について検討を行った。</li> </ul>
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜六花公園は引き続き剪定及び防疫防除作業を行い維持管理に努める必要がある。</li> <li>・桜六花公園のPRが必要であり、観光協会などと連携して多くの住民に見てもらえるよう努める。</li> <li>・公園管理の作業員不足が続いていることから、継続して管理方法について検討が必要である。</li> <li>・公園遊具が老朽化してきていることから、春先に使用前点検を実施する必要がある。</li> <li>・公園施設の老朽化に伴い再整備計画が必要。</li> </ul>
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜六花公園の剪定及び防疫防除引き続き行う。</li> <li>・観光協会との連携を図り、桜六花公園のPRを行う。</li> <li>・公園管理の方法について検討する。</li> <li>・公園遊具の使用前点検の実施。</li> <li>・公園施設整備計画の作成を検討する。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の管理方法の研究すること。また、桜六花公園のPR、観光、管理についての役割分担を整理すること。</li> <li>・草や枝の処理方法について情報収集すること。</li> </ul>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ			作成者	藤井克典					
事業コード	80203 -	事業名	道路維持費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	5 自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	2 安心して暮らせる生活基盤										
	節	1 道路、交通環境の整備										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし ・主要幹線道路の通行性や安全性を確保するため、舗装の補修・再整備を推進します。 ・障がいのある人や生活環境を配慮した安全施設、景観に配慮した道路整備に努め、安全で美しい道路づくりを推進します。 ・維持管理体制と機能の充実を図ります。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます								
		細項目	④	道路網の再整備、橋の長寿命化対策								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	道路の整備状況満足度(まちづくりアンケート)		73%					75%				
③ 事業の概要	国道や道道と一体となった総合的な交通体系を維持しつつ、道路及び付帯設備の補修、区画線設置等補修工事の施工、路肩草刈りや路面清掃を行うなど、走行の安全性の確保や道路環境の美化に努めている。											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	道路維持委託			33,325千円	31,960千円	28,470千円						
	砕石			4,584千円	4,136千円	3,724千円						
	維持工事(区画線)			3,759千円	3,888千円	3,974千円						
	路面清掃、管渠清掃、廃棄物処理委託			4,100千円	3,224千円	2,540千円						
	この事業の決算額等		決算額	42,075千円	43,765千円	39,030千円						
			うち一般財源等	42,075千円	42,443千円	39,030千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(国 / 、道 / )							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い		10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
		7 やや低い	○	7 やや高い	○	7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
	○	4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
											合計	41
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		平成18年度より道路維持・除排雪業務を民間企業体に委託している。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各路線の老朽度合いをはっきりと把握できないことから、補修路線の選定に時間を要する。</li> <li>・去年度に引き続き雑木処理を行う必要がある。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村道整備基本方針を見直し、パッチング等の道路補修については、緊急度・優先度を考慮し順次整備を行う。</li> <li>・道路用地内の雑木処理を継続して実施する。</li> </ul>
---------------------------	---

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度 of 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村道を企業体による巡視を月2回、職員による定期巡回を月2回程度実施した。</li> <li>・村道の老朽化による改修・補修の優先度を判定する為に村道整備基本方針の見直しを行った。</li> <li>・道路用地内の支障木を処理した。</li> </ul>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現巡視・巡回体制では、破損箇所等を全て把握することが困難なことから、巡視・巡回の頻度を増やす必要がある。</li> <li>・土砂、草木の堆積により道路側溝の機能が低下し本来の機能を果たしていない。</li> </ul>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による巡視・巡回を強化する。</li> <li>・村道整備基本方針に準じ補修路線を選定しクラック補修及びパッチングによる修繕を行う。</li> <li>・道路側溝が閉塞している箇所があり、本来の機能を有していない道路側溝について整備を行う。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・職員による巡視以外の方法がないか研究すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	施設課施設グループ			作成者	藤井克典	
事業コード	80205 -	事業名	除雪費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
		(細事業名)						
① まちづくり計画での位置付け	編	5 自然豊かで快適に暮らせるまち						
	章	2 安心して暮らせる生活基盤						
	節	1 道路、交通環境の整備						
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 冬期交通の確保 冬期間の生活路線の確保のため、除・排雪体制と機能の充実を図ります。						
参考	村長公約での位置付け	番号						
		細項目						
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値	
③ 事業の概要	冬期間の生活路線の確保のため、降雪時の交通確保、拡幅・排雪、安全な路面状況の確保などの除雪業務全般、除雪機械の維持管理を行っている。							
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績		
	除雪委託			63,805千円	48,572千円	56,495千円		
	備品購入(除雪ドーザー)			千円	千円			
	この事業の決算額等			決算額	63,805千円	50,907千円	58,170千円	
			うち一般財源等	63,805千円	50,907千円	58,170千円		
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )				
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	・除雪開始時間 小中学生の通学や通勤等の時間に間に合うよう、除雪量及び除雪作業時間を勘案し、適期の除雪開始に努めている。 ・路面状況に伴う対策 見通しの悪い交差点等、路面状況の的確な把握により早期の焼砂散布を行うなど、凍結路面に対する交通安全対策を講じている。							
⑥ 事業の評価	コスト	効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性		
	10 低い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	5 全くない	○ 10 高い		
	7 やや低い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	○ 3 少ない	7 やや高い		
	○ 4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	1 多い	4 やや低い		
	1 高い	1 低い	1 低い	1 低い		1 低い		
						合計	47	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	平成18年度より道路維持・除排雪業務を民間企業体に委託している。			

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>≪課題・問題点≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民による除雪について、自宅前の雪を歩車道に排雪するケースもある。</li> <li>・街中除雪時、路上駐車により除雪作業の妨げとなる車両が存在する。</li> </ul> <p>≪改善の方向≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報等で住民に意識改革の周知を図る。</li> <li>・除雪作業の効率化、機能向上のための対策をまとめるため、毎年の作業内容を検証する。</li> </ul>
---------------------------	--

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による道路敷地への排雪、路上駐車の防止の周知を実施した。</li> <li>・作業内容を検証し、市街地除雪について試験的に一部逆走による除雪を行い間口対応が可能か検討した。</li> <li>・除雪作業時に、道路付属物を破損することがあるため、除雪作業後における巡回パトロールを実施した。</li> </ul>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による周知で住民の意識改革を図ったが、浸透していない。</li> <li>・現除雪体制では住宅間口等の対応は不可能である。</li> <li>・道路付属物の破損時、村民からの修繕要請により状況把握することが多い。</li> </ul>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の周知を行うとともに、HP・村内放送を用いるなど、除雪協力体制の強化を図る。</li> <li>・除雪体制について、間口対応等行えるようにできるか検討する。</li> <li>・村民からの修繕要請前に企業体及び職員が状況把握を行い、要請があった際に説明できるよう努める。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	藤井克典					
事業コード	80301 -	事業名	河川管理費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
		(細事業名)								
① まちづくり計画での位置付け	編	5 自然豊かで快適に暮らせるまち								
	章	2 安心して暮らせる生活基盤								
	節	6 治山・治水対策と河川整備								
	① ② ③	① ② ③ 主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 治山・治水対策 ・戸島別川(戸島大橋)の下流域の河床洗掘について対策要望を継続していきます。 河川整備と環境保全 ・河川整備にあたっては流域の自然環境の保護・保全に努め、自然と調和した河川整備を推進します。 ・普通河川・明渠排水路の環境を維持するため地域住民と協力を図り、適切な維持管理及び環境保全に努めます。 ・土地改良事業により整備した明渠排水路の老朽化に伴い計画的に維持管理及び改修を行います。 また、元更別付帯明渠の改修、サラベツ川の国営明渠移譲を促進します。 ・愛護組合の構成員の高齢化に伴い、組織として継続的な河川の維持管理が困難な状況にあることから、対策を検討します。							
参考			村長公約での位置付け	番 号						
		細項目								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値		
	普通河川等維持管理整備目標(床ざらい)		年1カ所	1カ所		3ヶ所		年1カ所		
	普通河川整備、明渠排水路の整備(元更別付帯明渠改修工事 Vトラフ)		-					L=400m		
③ 事業の概要	河川や明渠の機能維持のため、雑木伐採、床ざらいや護岸ブロック等の施設補修を行なうなどの管理を行っている。土地改良事業で整備された明渠は、地域組織である河川愛護組合により草刈等の活動が行われている。									
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績				
	河川愛護奨励金(4組織)			220千円	220千円	220千円				
	河川修繕			千円	165千円	1,145千円				
	明渠維持賃金			221千円	270千円	129千円				
	河川維持機械料借り上げ料(床ざらい)			650千円	千円	693千円				
	河川維持工事			千円	千円					
この事業の決算額等			決算額	1,903千円	657千円	2,187千円				
			うち一般財源等	1,903千円	611千円	2,187千円				
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )						
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果										
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性			
		10低い	10高い	10高い	10高い	5全くない	10高い			
	○	7やや低い	○	7やや高い	○	7やや高い	○	3少ない	○	7やや高い
		4やや高い		4やや低い		4やや低い		1多い		4やや低い
		1高い		1低い		1低い				1低い
							合計	38		
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	愛護組合が結成されている河川については、住民主体で管理している。愛護組合や農地水組織が未結成の河川については、行政が行なっている。					

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                  ・サラベツ川の移管作業を継続して進める必要がある。</p> <p>《改善の方向》                  ・サラベツ川移管について、帯広開発建設部に確認及び要請を引き続き継続して行う。</p> <p>・河川愛護組合は多面的機能組織と連携を図り、河川及び明渠排水路の維持管理に努める。</p>
---------------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>・管理委託を受けていたサラベツ川の管理を北海道への移管移管作業が完了した。</p> <p>・河川の維持管理として、サラベツ川・カラス川の法面等の草刈を実施。</p> <p>・カラス川縦断管入れ替え工事の実施。</p> <p>・台風被害による土砂堆積のため、床ざらいを実施(無名川、サラベツ川、ペペギリ川)</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>・台風被害による村管理の普通河川の未補修箇所を整備。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>・村管理による普通河川の未補修箇所を整備を継続して行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ			作成者	小関梨菜					
事業コード	80501 -	事業名	建築総務費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)	定住促進事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	5.自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	2.安心して暮らせる生活基盤										
	節	5.住宅環境整備と定住の促進										
① まちづくり計画での位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1.個性ある住文化の実現 (1)中札内らしい緑豊かで美しく安全で快適な居住環境の実現に向け、中札内スタイル住宅の建設を推進します。 (2)「中札内スタイル住宅建設基準」について、「北方型住宅建設基準」との整合性を図るなど、さらなる質の向上に向けた誘導方を検討します。 3.移住の促進 (1)移住促進ワンストップ窓口による移住支援に努めます。 (2)ホームページによる宅地分譲地の紹介、空き地・空き家情報、民間アパート情報や各住宅施策支援制度など住まいに関する情報提供に努めます。 (3)移住・定住促進奨励や民間賃貸住宅家賃助成等により移住・定住を促進します。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます								
		細項目	2	定住促進奨励、民間賃貸住宅家賃助成等など移住・定住対策の継続								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	中札内スタイル住宅の推進(累計)		80	98	106	119		120				
	移住の促進(累計)		30	39	43	47		50				
③ 事業の概要	・移住促進ワンストップ窓口による移住支援 ・定住促進のための支援制度の実施 ・中札内らしい住環境整備を実現するため、中札内スタイル住宅基準の推進と住宅建設奨励金の助成。											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	定住促進パンフレット印刷製本費、PR広告料			130千円	130千円	487千円						
	定住促進奨励金			6,931千円	5,697千円	5,380千円						
	民間賃貸住宅家賃助成金			4,732千円	4,341千円	5,528千円						
	移住促進奨励金			1,375千円	2,000千円	2,000千円						
	中札内スタイル住宅建設奨励金			4,600千円	4,900千円	8,000千円						
この事業の決算額等			決算額	17,708千円	17,137千円	21,395千円						
			うち一般財源等	15,468千円	5,114千円	18,445千円						
			国・道補助	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	(国 スタイルのみ50%、他全額)							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い		10 高い		10 高い		5 全くない	○	10 高い
		7 やや低い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
	○	1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
合計												35
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		・定住促進は重点施策として位置付けており、人口減少や高齢化への対応策として、行政が行う必要がある。 ・定住推進を行政の取り組みで完結するのではなく、民間企業・団体と連携することにより、移住希望者の多様なニーズに対応することができ、効果が拡大する。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 定住促進制度の実施効果についての総合的な検証と啓発による適正な維持管理の継続を図る取り組みが必要。移住・定住につなげるため、村の良さを知ってもらうためのPRや交流事業を検討する必要がある。</p> <p>《改善の方向》 定住促進事業を現行制度どおり実施し、総合的な検証作業を進める。 移住・定住につなげるため、他機関にも協力を得ながら、村の良さを印象づけるための移住体験、交流事業及び村の基幹産業である農業体験などの事業を検討する。</p>
--------------------	--

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定住促進奨励による支援を実施し、移住・定住促進を行った。</li> <li>・情報が古くなったため、移住促進パンフレットを更新。</li> <li>・PRの一環として十勝移住の本を作成、移住関連サイト「北海道で暮らそう!」・JOIN事務局運営サイト「ニッポン移住・交流ナビJOIN-田舎暮らしを応援します-」の内容を更新。</li> </ul>
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住体験等を行う場所の確保が困難である。</li> <li>・移住・定住につなげるため、村の良さを知ってもらうための積極的なPR活動が必要。</li> </ul>
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定住促進奨励による支援を実施し、移住・定住促進を行っていく。</li> <li>・移住体験を実施できる場所の確保を検討する。</li> <li>・雑誌「北海道生活」や移住関連サイトを利用して積極的にPRする。</li> <li>・移住相談の対応を円滑に進めるため、マニュアル等を作成する。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し住宅の先進事例について情報収集すること。</li> <li>・道外に向けたPRの方法を研究すること。</li> </ul>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ			作成者	小関梨菜					
事業コード	80503 -	事業名	村営住宅管理費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	5.自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	2.安心して暮らせる生活基盤										
	節	5.住宅環境整備と定住の促進										
主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 2. 良質な住宅ストックの形成 (1) 公営住宅の建替えは、誰もが安心・安全に使用のできるユニバーサルデザインを基本として、まちなかでの建設とします。 (2) 公営住宅長寿命化計画に基づき、公営住宅等の適切な管理戸数を設定し、既存公営住宅のストック改修、居住性構造改善を実施し、居住者が快適に住むことのできる住宅性能を確保します。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます								
		細項目	⑤	公営住宅機能改善による快適な住環境の整備								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	村営住宅の整備		378戸 (-)	378戸 (19戸)	378 (15戸)	386 (16戸)			376戸 (100戸)			
③ 事業の概要	・住宅困窮者に住宅を提供し、適正な入居管理を行う。 ・入居者の要望に対し細やかな対応と、良好な居住環境の維持保全を行う。 ・公営住宅等長寿命化計画に基づく、計画的な村営住宅の建替え・改善の実施を行う。											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	村営住宅修繕賃金			94千円	209千円	381千円						
	住宅修繕費			6,883千円	7,117千円	7,354千円						
	委託費			2,515千円	2,485千円	2,412千円						
				千円								
この事業の決算額等			決算額	10,691千円	11,316千円	10,147千円						
			うち一般財源等	千円								
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い	○ 10 高い		5 全くない	○ 10 高い			
	○	7 やや低い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	7 やや高い	○	3 少ない	7 やや高い			
		4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い		1 多い	4 やや低い			
		1 高い	1 低い	1 低い	1 低い	1 低い			1 低い			
										合計	50	
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		居住者の安定した生活の確保ため、行政による管理をおこなうが、日常修繕等は民間による対応が可能。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 引き続き、公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施していく必要がある。 村営住宅の建替え・改善を実施するにあたって、入居者の生活に配慮して取り進める必要がある。</p> <p>《改善の方向》 引き続き、公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施する。また、家賃上昇を極力抑制するため、改修内容を精査し、工事費を縮減する。 建替え・改修に関する意向調査や、説明会の開催、個別の打ち合わせをし、改善計画への理解や要望等の聞き取りを行い、入居者の生活に配慮した建替え・改善を実施する。</p>
--------------------	--

■平成28年度 of 取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域優良賃貸住宅(若者世帯向け)8戸の建設を行った。</li> <li>・公営住宅等長寿命化計画に基づき、泉団地3棟12戸、上札内東団地2棟4戸の改修を実施した。</li> <li>・改修計画団地の入居者に対し、説明会の開催や個別の打ち合わせをし、改善計画への理解や要望等の聞き取りを行い、入居者の生活に配慮した改善を実施した。</li> <li>・改修内容の精査によって、工事費を削減した。</li> </ul>
⑩ 課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅等長寿命化計画策定後5年を経過することから、中間見直しが必要。</li> <li>・建替・改善を実施するにあたって、入居者の生活に配慮して取り進める必要がある。</li> </ul>
⑪ 今後の取組み・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅等長寿命化計画に基づく改善を実施していく。</li> <li>・村の財政状況を考慮し、改修内容を精査し、工事費を縮減する。</li> <li>・建替・改修に関する意識調査や説明会の開催、個別の打ち合わせをし、改善計画への理解や要望等の聞き取りを行い、入居者の生活に配慮した建替・改善を実施する。</li> <li>・公営住宅等長寿命化計画策定後5年を経過するため、中間見直しを行い、実態に沿った建替・改修を行っていく。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・現在のニーズに合った対応を検討すること。</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	北村公明											
事業コード	80207 -	事業名	道路改修費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続										
		(細事業名)														
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然豊かで快適に暮らせるまち														
	章	2. 安心して暮らせる生活基盤														
	節	1. 道路、交通環境の整備														
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 道路の整備 (1) 主要幹線道路の通行性、安全性を確保するため、舗装の再整備を推進します。 (2) 防塵処理舗装の改良舗装による再整備を推進します。 (3) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁補修を推進します。														
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます												
		細項目	④	道路網の再整備、橋の長寿命化対策												
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値									
	道路の整備状況満足度	73%					75%									
	橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修	3橋	2橋	1橋	1橋		8橋									
	幹線道路を中心とした村道整備、補修	38km	1.3km	1.7km	2.2km		42km									
③ 事業の概要	・主要幹線道路の通行性や安全性を確保するため舗装補修・再整備を行う。 ・未舗装道路整備を行い、交通機能の円滑化を行う。 ・防塵処理舗装の凍上対策による再整備を行う。 ・橋梁長寿命化計画に基づき橋梁の補修を行う。 ・障害者や生活環境を考慮した安全施設、景観に配慮した道路整備に努め、安全で美しい道路づくりを行う。															
④ 事業の内容	事業内容		H26実績	H27実績	H28実績											
	積算システム等使用料		348千円	348千円	141千円											
	調査設計委託		16,070千円	12,074千円	7,625千円											
	道路改良舗装工事		183,384千円	118,719千円	185,598千円											
			千円													
			千円													
この事業の決算額等		決算額	204,456千円	133,188千円	193,537千円											
		うち一般財源等	185,134千円	113,298千円	169,613千円											
		国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )													
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果																
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性					
	○	10	低い	○	10	高い		10	高い		5	全くない		10	高い	
			7	やや低い		7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない	○	7	やや高い
			4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い		4	やや低い
			1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
												合計	44			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由		インフラ整備として、行政が行う。											

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 整備状況の進捗度を加速させ、通行性及び安全性を早期に確保するためにも、安価で耐久性の高い改良補修工法の検討が必要である。</p> <p>《改善の方向》 過去の地区要望、関連工事における施工実績及び老朽度、優先度、緊急度を勘案した村道整備基本方針の早期見直しを行う。</p>
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>・道路改良において、従来工法を見直し、既存路盤を攪拌し再利用する「路盤再生工法」を採用し、施工を行った。</p> <p>・村道は、舗装道路の全線を調査し、これまでの補修履歴を反映しながら、緊急度・優先度を考慮し順位化して整備を進めるために、村道整備基本方針の見直しを行った。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>・工事費は従来工法の約3分の1と安価ではあるが、車両走行性及び経年の耐久性が不明である。</p> <p>・今後の村道改修については、見直しを行った村道整備基本方針により、取り進めていくことが重要である。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>・従来工法との走行性及び耐久性について、現場確認を含め比較検証を行う必要がある。</p> <p>・村道改修の予算作成は、村道整備基本方針により緊急性・優先順位を考慮して行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	施設課施設グループ	作成者	江淵周平										
事業コード	60213 -	事業名	土地改良一般経費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)	農地・水・環境保全向上対策												
① まちづくり計画での位置付け	編	5. 自然豊かで快適に暮らせるまち													
	章	2. 安心して暮らせる生活基盤													
	節	1. 道路、交通環境の整備													
	① 主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし													
		1. 道路の整備 (1) 多面的機能支払交付金による地域住民の協力体制の確立を図り、環境に配慮した維持管理を推進します。													
参考	村長公約での位置付け	番 号	5	生活の安全、安心づくりを進めます											
		細項目	⑥	美しい農村環境を守り育てる取り組み											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
	地域住民による農道維持管理体制		8組織	11組織	11組織	11組織		8組織							
③ 事業の概要	農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動の継続、自然環境の保全に資する農業生産活動の支援を行う。														
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績									
	共同活動支援			23,086千円	84,117千円	84,071千円									
	営農活動支援			-	-	-									
				千円											
				千円											
	この事業の決算額等		決算額	32,738千円	94,787千円	94,886千円									
			うち一般財源等	25,583千円	23,651千円	22,534千円									
			国・道補助	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国 1/2、道 1/4)											
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果															
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性								
	10	低い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い					
	○	7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない	7	やや高い	
		4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い	○	4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い		1	低い		1	低い
							合計	35							
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	事業主体が地域活動組織である。 行政は、補助に関する事務、監督指導業務を行っている。										

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》 年々、農用地周辺等におけるゴミの不法投棄が増加しており、各活動組織と共に抑止効果を目的とした対策方法を検討する必要がある。</p> <p>《改善の方向》 多面的機能支払交付金連絡協議会の適期開催を継続し、各活動組織からの問題提示に対し適切な指導および助言を行う。また農村環境整備活動の推進に向けて、各活動組織に啓発活動を行う。</p>
--------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	<p>・各活動組織(全11組織)で水路や農道の草刈り及び床洗い作業を行い、農用地及び農業用施設の適切な安全管理が図られた。 また、農用地周辺等におけるゴミの不法投棄対策として、各活動組織にて抑止効果を目的とした看板の設置を実施した。 ・多面的機能支払交付金事業の円滑な事業推進を目的として、中札内村農地・水・環境保全向上対策連絡協議会を2回(12.2月)開催した。</p>
⑩ 課題・問題点	<p>施設の経年劣化や土砂埋塞等による排水機能の低下が懸念されるため、排水施設(道路側溝)の床洗い等の維持管理体制を強化する必要がある。</p>
⑪ 今後の取組み・方向性	<p>中札内村農地・水・環境保全向上対策連絡協議会を開催し、各活動組織に業者委託を含めた維持管理体制づくりへの啓発活動を行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>